

# 学生イノベーションチャレンジ活動報告



活動団体：岡山理科大学サッカー部  
発表者：新居 秀也

# 目次

- 活動概要
- 活動状況
- 今後の予定



## 活動概要

- 高齢者の健康寿命の延伸
- 地域に愛されるチームを作るための地域貢献活動
- 大学のサッカー部と老人クラブが連携し、交流する機会を作り、地域連携の推進と健康事業延伸を図る機会を創出することを目的とする

## 活動状況

- ・ 6月23日 岡山県サッカー協会の神戸さんとの会議
- ・ 8月7日 マリア幼稚園訪問
- ・ 8月8日 半田山寿会副会長様と会議
- ・ 9月12日 フレイル事前説明会
- ・ 9月15,19日 フレイル実施



## 活動状況

- ・ 9月12日 フレイル事前説明会
- ・ 9月15,19日 フレイル実施
- ・ 11月14日 地域清掃活動
- ・ 1月27日 グラウンドゴルフ大会



## 活動状況

- ・ 試合観戦
- ・ グラウンドゴルフ大会

OKAYAMAハレ活プロジェクト対象

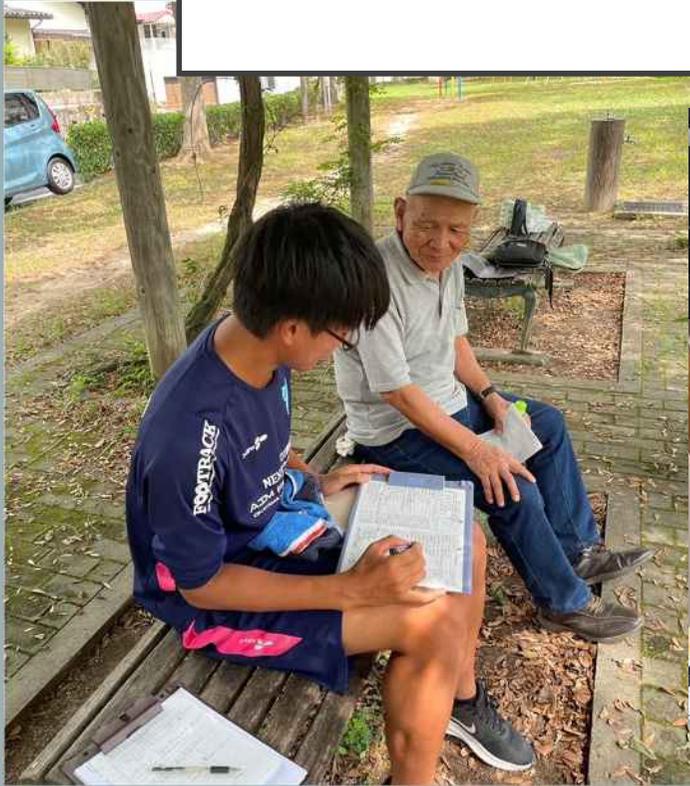


## 活動状況 《マリア幼稚園訪問》



- ボール遊び
- 体遊び
- 大学生とキックターゲット勝負

## 活動状況 《フレイル訪問》



# 昨年のフレイル活動が令和5年8月22日の読売新聞に掲載

## 人フレイル講座

### 世代間交流と、その効果



### 効果

若者にとって	若者にとって
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の機会が増える</li> <li>交流が高まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遣いなど年配者との接し方を学べる</li> <li>人生経験をもとにしたアドバイスをもらえる</li> </ul>

※内田教授などへの取材を基に作成



大阪樟蔭女子大の学生らと玉入れ競争を楽しむ高齢者（7月13日、大阪府東大阪市で）

高齢者宅を回り、健康状態を確認する岡山理科大学の学生ら（7月13日、大阪府東大阪市で）



井ノ口で2021年から、高齢者が外に出る機会を創出する取り組みが続いている。「コロナ禍でフレイルになる人が増えるのではないかと懸念したことがきっかけ」（井ノ口教授）だ。これまで、フレイル予防を題材にしたオリジナルかるたや、パラスポーツの「ボッチャ」を楽しくイベントを企画した。「青春時代の思い出を思い出してもらえれば」と考え、取り組んだという。企画した同大4年の高畑萌衣さん（左）は、「参加者は、体を動かすだけでなく、

「学生たちは交流を通じて、学業だけでなく、学業以外のことを学ぶ機会が増える」と目を細める。

高齢者と一緒に体を動かしたり、地元の行事に参加したり、フレイル予防に貢献できる機会を増やしたい。フレイル予防に貢献できる機会を増やしたい。フレイル予防に貢献できる機会を増やしたい。

### 運動会や老人会 若者にも好影響

た紙飛行機を飛ばして、距離を争う競技なども行われた。大運動会の目的は、フレイル予防の一つである高齢者の社会参加だ。年齢を重ねて外出の機会が減ると、社会とのつながりを失いやすいため、注意が必要になる。この日も、競技と競技の合間に学生との会話を楽しむ高齢者の姿が目立った。

岡山市の岡山理科大学では、元々の老人会による高齢者の活動に協力している。昨年度、フレイルの予防に何らかの貢献ができた高齢者について、調査を行った。

## 学生と交流 心に活力

戸別訪問に同色々な人たちとコミュニケーションを取ることで、心の気も保ってほしい」と話す。

## 活動報告

- ・ 寿会の皆様の体調調査

10名のお宅に訪問



## 活動状況 《清掃活動》



## 活動報告

・ 11月16日  
岡山理科大学サッカー一部10名  
寿会10名

計20名で公園の清掃



## 活動状況 《グラウンドゴルフ大会》



## 活動報告

- ・ 1月27日  
岡山理科大学サッカー一部40名  
寿会10名  
マスカット倶楽部10名  
計60名で開催



## 活動報告

- ・ 老人会の方々からの指導

老人会の部・学生の部

学生の中には老人会の方に並ぶ  
記録を出す人も



## 今後の予定

町内会とも交流を増やしていく

サッカーイベントを自分たちの力で開催